

ムチゴケ科

タマゴバムチゴケ

Bazzania denudata (Lindenb.) Trevis

兵庫県ランク… C

環境省ランク… ー

■ 県内分布

養父市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

茎は長さ1-3cm。葉はやや重なり、やや凸面状をなし、卵形、長さ1-1.4mm、幅0.8-1.2mm、先端に(2-)3齒があり、脱落しやすい。細胞は厚壁でトリゴンが小さく、表面がほぼ平滑。腹葉は茎に接し、広卵形、幅は茎径の2-3倍、扁平、先端が全縁から円鋸齒状、細胞は葉の細胞に似る。油体はムチゴケ、コムチゴケに似る。雌雄異株。亜高山帯以上の倒木、樹幹上に生育する。